

6/9 Hirado City Photo News
日ごろ感じた思いを



平戸文化センターで第14回平戸市「少年の主張」大会が開催されました。市内の小中学校の代表24人が日々の生活で感じたことや将来の夢を自分のことばで伝えていました。

中学生の部の最優秀賞の受賞者は「『少年の主張』長崎県大会」に、特別賞の受賞者は「社会を明るくする運動中学生・高校生長崎弁論大会」に出場します。
【最優秀賞】「小学生の部」出口奈知さん(山田小6年 ※写真)「中学生の部」西宮宏敦さん(野子中3年)
【特別賞】「中学生の部」白石芳佳さん(平戸中3年)

6/1 Hirado City Photo News
中津良川のほたるを見ながら



上中津良公会堂で「中津良川ほたるまつり」が開催されました。

当日は、地元の子どもたちによる和太鼓演奏やダンス、詩吟、尺八演奏、カラオケ大会など多彩なイベントのほか、カレーや焼き鳥、おでんなどの軽食、ジュースなどの販売や、地元でとれた野菜や米など特産品の販売も行われました。

会場のそばを流れる中津良川では、午後8時ごろからほたるが飛び始め、訪れた人たちはほたるの飛び交う様子に魅了されていました。

5/26 Hirado City Photo News
多大な功績をしのぶ



崎方公園の墓碑前にて、三浦投針(ウィリアム・アダムス)をしのぶ「第25回投針忌」(国際交流HIRAの会主催)が開催されました。平成7年から毎年行われており、今回で25回目を迎えました。

江戸時代、徳川家康の外交顧問として、砲術、天文学、造船術、航海術などを日本にもたらし、平戸にイギリス商館やオランダ商館を設置し、海外との交易の礎を築きました。その多大な功績をたたえ、約80人の関係者が、墓前に献花を行いました。来年は没後400年を迎えます。



6/14 Hirado City Photo News
観客の声援を背に全力疾走



平戸市総合運動公園ライフカントリーで、「第14回平戸市中学校総合体育大会陸上競技」が開催されました。市内の9中学校から男子の部20種目、女子の部17種目に369人の生徒が参加し、日ごろの練習の成果を十分に発揮していました。

大会では、2年生女子4×100mRで大会新記録、1年生男子100m、2年生男子100m、共通女子4×100mRで大会タイ記録がでるなど熱戦が繰り広げられました。会場には学校の仲間や保護者が応援に駆けつけ大きな声援を送っていました。

6/10 Hirado City Photo News
若者の地元定着と担い手育成に



平戸市役所において、今年度市内の介護サービス事業所に就職した20歳代の介護職員2人に、平戸市長から奨励金を手渡しました。

若者の地元定着や介護の担い手育成を目的に、平戸市が昨年度から創設した事業で、長崎県内の自治体では唯一の取り組みです。

長崎県の推計によると、平戸市の介護職員は今後、離職や定年退職などで2025年には、300人ほど不足する見通しで、平戸市では今後も若い介護職員の地元定着や担い手育成を図っていきます。

5/26 Hirado City Photo News
100年前の思いを受継ぐ



水垂町で「がわっぱ石100年祭」が開催されました。明治から大正時代にかけて、水垂町では人間に悪さするカッパが出没したといわれ、見かねた住民がお寺の住職に頼んでかっぱの霊を石に封じ込め、災いはなくなりました。その石を「がわっぱ石」として祭り、歴代の区長に100年後に供養するよう申し送りされ、100年目の今年に、地元住民約70人ががわっぱ石の前で祈願しました。その後公民館に移動し、地元の子どもや老人会の人たちがかっぱに扮し、踊ったり相撲などを披露しました。

5/24 Hirado City Photo News
毎年恒例津吉茶市



津吉町一体で「第65回津吉茶市」が開催されました。沿道には地元特産品をはじめ、茶や焼き鳥、焼きそばなど地元や九州各地から集まった露店約70店が軒を連ねていました。

会場では、保育園児の出し物やステージイベント、ビアガーデンの他、津吉小学校の児童が手作りのエコバッグやドーナツ、校内の畑で収穫したタマネギなどを販売しました。さらに、野球大会など盛りだくさんの催し物で、津吉地区一体は朝から夜まで大いににぎわっていました。